

令和4年度 前期 学校評価集計			河内小学校 令和4年9月22日 第1回学校評議委員会					
	分析と対応の方向性について(学校)	保護者	上位評価の割合(1+2)	児童	上位評価の割合(1+2)	教職員	上位評価の割合(1+2)	
生活	<p>・家庭でのメディア(テレビ、ネット、ゲーム)との付き合い方については児童の評価が下がっているが、保護者による評価は依然として児童よりも低い。メディア利用の際の約束を守れているかの評価は曖昧な点があるが、引き続き学校でのメディアリテラシー教育を計画的に進めていく。</p> <p>・家庭での仕事・手伝いについては、評価が58.1%と、とても低くなっている。家庭での時間を大切にするために、家族の一員としての役割を持つことの大切さ働きかけていく。</p>	お子さんは、毎日朝食をとっている。	100.0%	給食は残さずに食べるようにしている。	93.5%	適切に給食指導を行っている。(準備片付け・衛生・マナー・栄養バランス)	100.0%	
		お子さんは、夜はやく寝るようにしている。(1-3年…9時 4-6年…10時)	89.7%	夜は、はやく寝るようにしている。(1-3年…9時 4-6年…10時)	90.3%			
		お子さんは、メディア(テレビ・ネット・ゲーム)との付き合い方(時間・ルール)を約束し、それを守っている。	62.1%	テレビやネット・ゲームについて、おうちの人と約束を決めて、それを守っている。	77.4%			
				お家の人と約束して、家の仕事やお手伝いを毎日している。	58.1%			
				委員会活動(4-6年)やクラスの係活動は、しっかりと とりこんでいる。	96.8%	学級の係や委員会活動の日常の仕事が確実に実行されるように指導している。	88.9%	
				毎日朝ごはんを食べている。	71.5%			
		お子さんは、学習のための道具や持ち物の準備を自分でできるように気をつけている。	82.8%					
	<p>・児童が、楽しく、安心して過ごすことができる学校づくりに努める。</p>	お子さんは、学校は楽しいと思っている。	89.7%	学校は、楽しい。	83.9%	子どもたちは、学校で楽しく過ごしている。	75.0%	
		お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	96.6%	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	87.1%	子どもたちは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	75.0%	
		お子さんは、家庭や地域で挨拶を交わすことができている。	96.6%	学校や家、近所で しっかりと あいさつをしている。	96.8%			
・温かい人間関係づくりの意識化を図る。		お子さんは、友達に対して、思いやりの心で行動している。	100.0%	友だちにたいして、思いやりの心で行動している。	93.5%	(高め合う集団づくり)児童どうしが認め合い思いやりのある言動ができるように責任を持って指導している。	88.9%	
・SCなどの専門家や専門機関との連携を図り、問題事案には、チームで対応に当たる。	お子さんと学校や友達の話をする機会をとっている。	100.0%	家では、家の人と学校や友達の話をしている。	90.3%	児童の思いや悩みを拾い上げ、いじめや不登校を未然防止するために意思疎通を図るための手立てを打っている。	85.7%		
学習	<p>・授業の分かりやすさについて、児童アンケートと保護者アンケートの数値にやや開きがある。</p>	お子さんは、「授業が分かりやすい。」と感じている。	82.8%	先生の 授業のすすめかたはわかりやすい。	96.8%	少人数編成を活かし、全員参加の授業になるよう指導している。	85.7%	
		お子さんは、ノートに学習の足あとを残している。	69.0%	課題やわかったこと、まとめ・ふりかえりなど、ノートをていねいに書いている。	77.4%	ふり返りやまとめの場の設定を含め、ノート指導の充実を図っている。	71.4%	
	<p>・家庭学習の習慣について親子の評価に差異がある。各学年に応じた家庭学習の取組内容や時間帯について学校・学年だより等で理解・支援を啓発する。</p> <p>・児童は読書量に満足しているが、保護者・教員はより質の高い本を手にするのを期待している。良書との出会いを進める。</p>	お子さんは、毎日、家庭学習の手引きの目安の時間、家庭学習に取り組んでいる。 ※1,2,3年生…30分 4年生…40分 5年生50分 6年生60分	64.3%	宿題や家庭学習を毎日して提出している。(1,2,3年生…30分 4年生…40分 5年生50分 6年生60分)	87.1%	家庭学習が習慣化するよう、見取りと手立てを行っている。(家庭学習の時間と内容の吟味)。	100.0%	
				道徳の時間で学習したことを友達や家族との生活で活かすようにしている。	83.9%	(心の教育の充実)教科や特別活動など全教育活動と連携して道徳教育が推進されている(資料の吟味)。	85.7%	
		学校では、児童が読書に親しむ機会が設けられている。	79.3%	図書館の本や新聞などをすすんで読むようにしている。	80.6%	児童の読書の量や質を確保するための読書指導を行っている。	87.5%	
						ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業を行っている。(家庭学習と内容の吟味)	85.7%	
				児童が意欲的に考えを表現する場を設定している。	100.0%			
				児童は、文や図などを使って考えたことを説明したり、学んだことをまとめたりしている。	100.0%			
行事	<p>・児童・保護者は地域やPTA行事に積極的に参加していると評価している。特に保護者は昨年度に比べ、評価が上がっている(児80、保87→96)。コロナ禍によるPTA行事、保護者参加行事などの中止・制約があるが、その中での取り組みができていた。</p>	お子さんは地域やPTAの行事に積極的に参加している。	96.6%	地域やPTAの行事に 参加している。	80.6%	PTAの行事や取り組みに協力している。	77.8%	
		学校では、児童の感性を育む体験活動や奉仕活動が行われている。	96.6%			(心の教育の充実)感性を育む体験学習やボランティア活動が活性化できている。	71.4%	
	<p>・「自分のめあてを持って学校行事に取り組み、取り組み後には自分なりの振り返りができる」という河内小学校のよさを再確認し、子どもたちに達成感を持たせる言葉かけ、取組などによって価値づけていく。</p>			行事や体験活動にめあてを持って参加し、ふりかえりがしっかりできている。	77.4%	行事や体験活動に目的意識を持って参加させ振り返りを指導に活かしている。	100.0%	
連携	<p>・児童は昨年度より先生に相談しやすい(84→87)と感じていて、教職員も保護者との連携ができて(100)としているが、保護者は学校(担任)との連携ができていない割合が減少している(90→86)。その原因を探る必要がある。</p>	子どもの様子などを学校・担任と連携して適切に相談できる体制ができている。	86.2%	困ったことや悩みがあるとき、先生に相談しやすい。	87.1%	保護者と連携した児童への指導を行っている。	100.0%	
		学校は、PTAや地域と連携して児童の安全対策を推進している。	100.0%	通学するとき、交通安全やマナーに気をつけて行動している。	93.5%	通学時の安全指導を適切に行なっている。	75.0%	
		学校だよりやホームページで学校の取り組みや児童の様子がよくわかる。	89.7%	おたよりは家の人に見せている。家からのものは学校に出せている。	87.1%	学校広報は適切に行われている。(学校だより・ホームページ・学級だより等)	100.0%	
その他						児童理解について全体で共有し、個に応じた支援を行っている。(個別の記録の蓄積)	87.5%	
						学習の成果が見える掲示の工夫、個が生きる環境づくりがなされている。	100.0%	
						<学校評価の充実>課題の共有化と解決に向けての協力体制ができています。	83.3%	
						美化活動が充実している。(清掃指導・協働作業)	88.9%	
					家庭や地域と連携した安全対策が推進されている(緊急時の連絡体制の強化)。	100.0%		